

# 九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 7 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- ：解説を掲載した火山
- ：その他の火山

この資料は、気象庁のデータその他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
中岳第一火口内の湯だまり量は、降雨により10割に増加し、表面温度も60前後と低くなりました。また、小規模な土砂噴出の発生もありませんでした。  
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

### 霧島山

[御鉢 静穏な状況(火山活動度レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
[新燃岳 静穏な状況(火山活動度レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[活発な状況(火山活動度レベル3)]  
南岳山頂火口では小規模な噴火が発生しましたが、昭和火口からの噴火はありませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多く、振幅もやや大きくなりました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
噴煙活動や火山性地震の日回数が50回を超える日があるなど、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
火山性地震は少ない状態でしたが、中・長期的にはやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]  
噴火や爆発的噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、9月11日(月)の予定です。

火山情報発表状況 (平成 18 年 7 月)

火山名	情報名	発表時間	概要
桜島	火山観測情報第 19 ~ 27 号	3 日 15 時 30 分	<b>比較的静穏な状況(レベル 3)</b> 山頂火口及び昭和火口の活動状況(噴火の状況、火山性地震・微動の発生回数)
		7 日 15 時 40 分	
		10 日 15 時 45 分	
		14 日 15 時 30 分	
		18 日 15 時 30 分	
		21 日 15 時 30 分	
		24 日 15 時 30 分	
		28 日 15 時 30 分	
		31 日 15 時 30 分	

# 雲仙岳

## 1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは1 (静穏な火山活動)でした。

## 2 概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静穏な状態で経過しました。

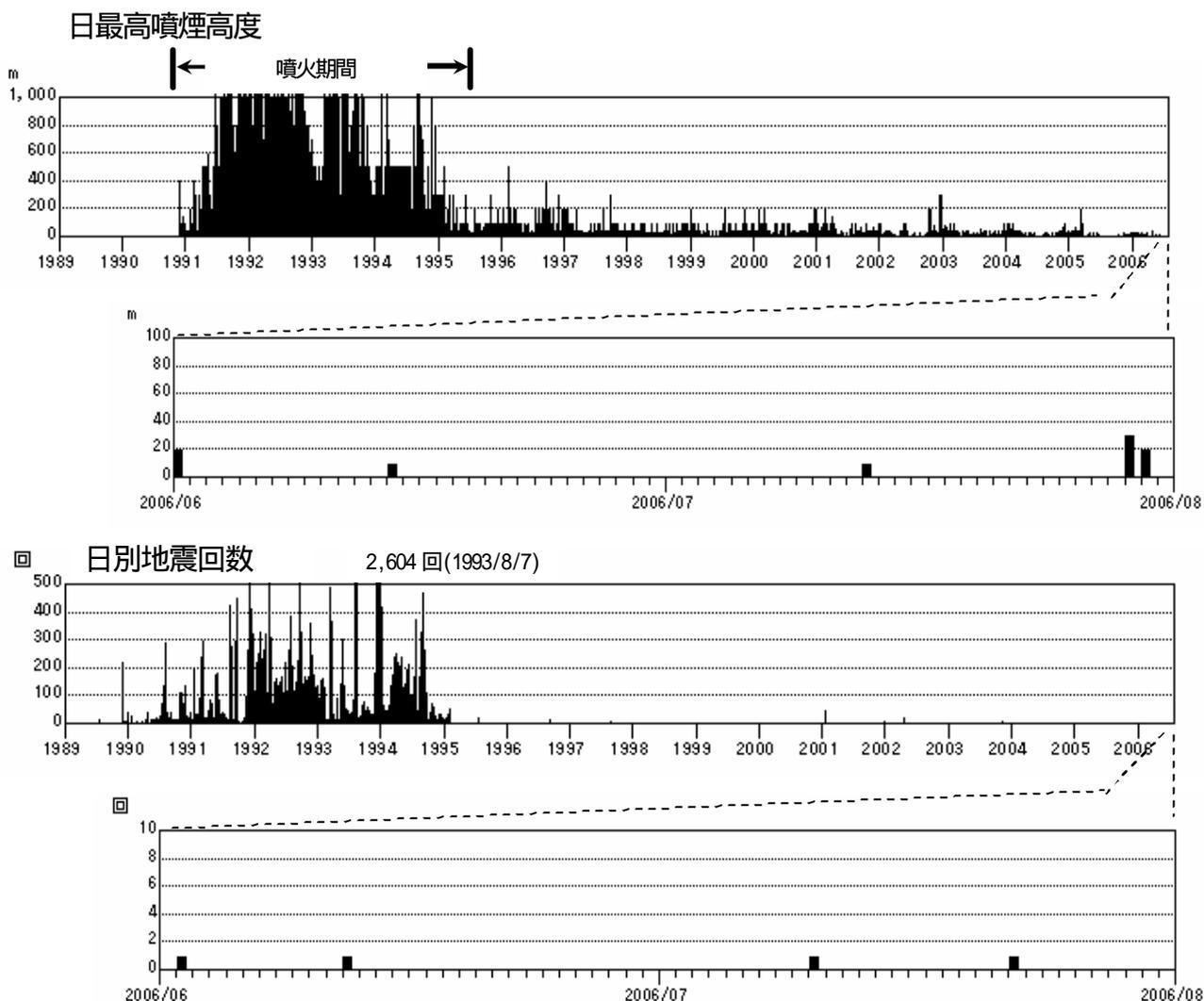


図1 火山活動経過図(1989年1月～2006年7月)

2006年7月の遠望観測で噴煙を時々観測し、高さの最高は30mで、引き続き静穏な状態で経過しました(6月：最高高度20m)。

火山性地震は2回発生しました(6月：2回)。

火山性微動の発生はありませんでした(6月：なし)。

資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。

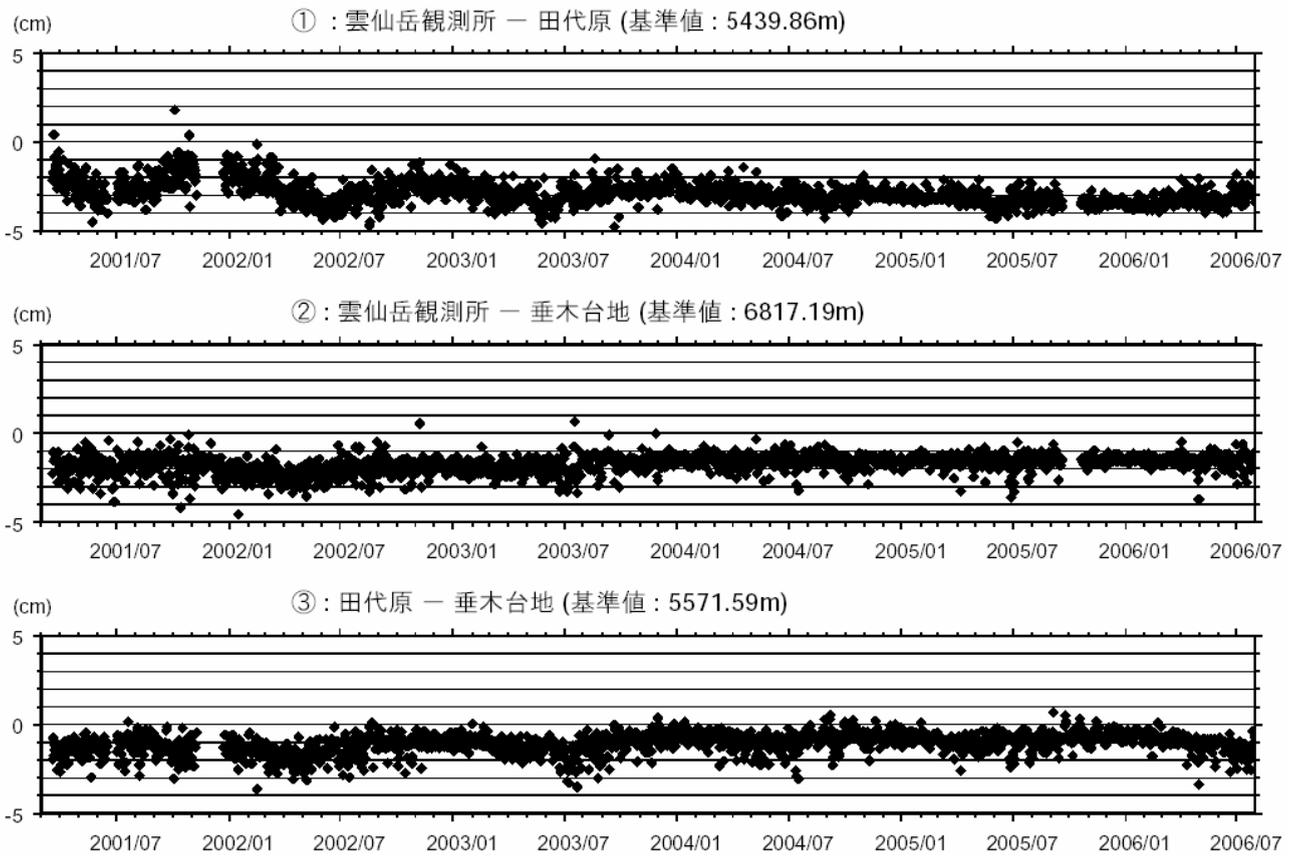


図2 GPSによる基線長変化(2001年3月20日~2006年7月31日)  
火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

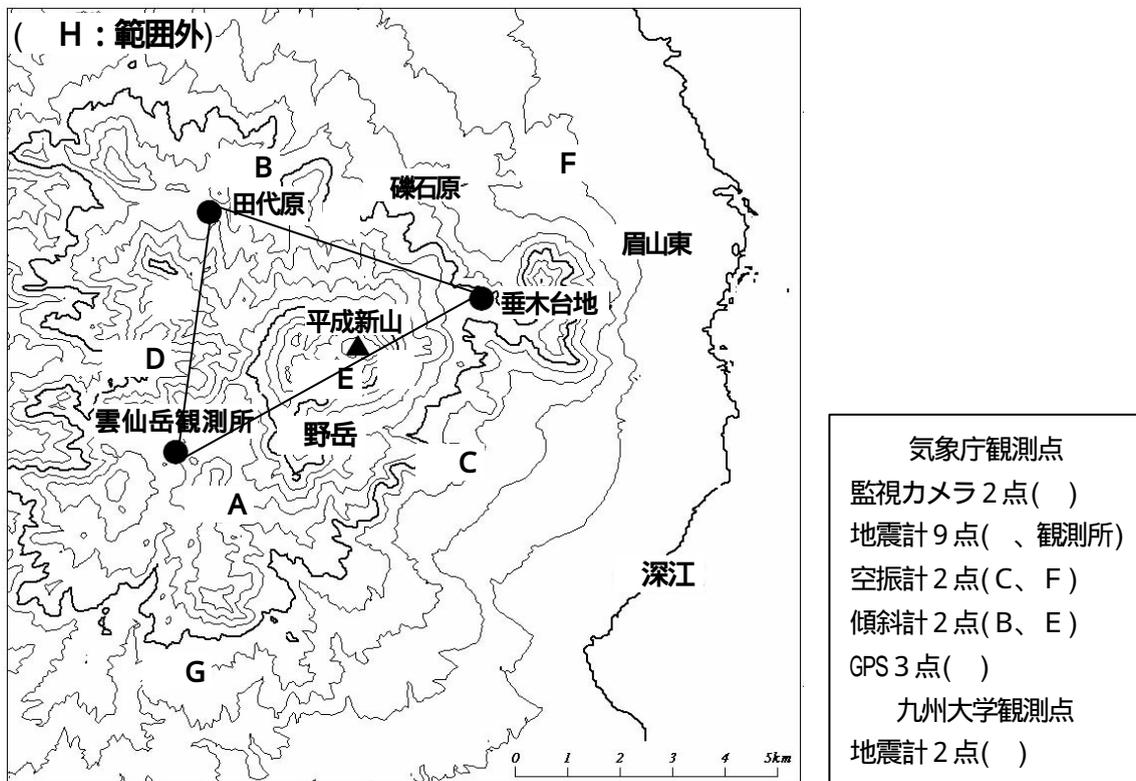


図3 観測点位置図